

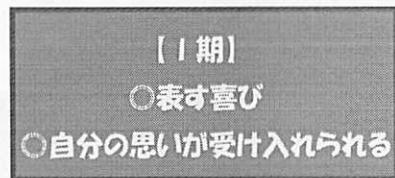
# 事例資料

○伝え合う喜びを感じる  
集団の育ちの姿と援助

○伝え合う喜びを感じる  
個別の育ちの姿と援助



事例 伝え合う喜びを感じる 集団の育ちの姿と援助



事例 i

～好きな遊び 砂場にて～

4人の子どもが砂場で遊んでいる。B児とS児人は山を作り、Z児は近くで水の流れる道を作っている。K児は穴を掘っている。山を作る二人は時々水を流しながら流れ落ちる山に「おお～」や「もう一回！」と話しながら遊んでいる。教師はK児に「いっぱい掘れたね。あっちは水流してるね！」等共感したり周りの子どもに興味が湧くよう声をかけたりした。するとK児は①「もっと掘る！」といい大きな穴を掘り始めた。「どうなるの？」と教師が尋ねると、①「温泉～」と言いかながら掘った穴に水を流す。水がすぐに砂に吸収される様子をじっと見て①「もっと！水がいる！」と思いを表しながら水を汲みに行く。それを見ていたB児が持っていたじょうろの水を入れたので「Bちゃんありがとう！KくんBちゃんが水入れてくれたよ」と教師が言うと、K児は②「ありがとう」といい、「Bちゃんも完成したら入っていいよ」という。B児は「よし」といい、一緒に水を汲みに行く。近くのS児とZ児は「何してますか？」と教師に話しかける。教師が「ここが温泉になるんだって！」と言うと、②「いいなあいれて！！」といいK児のもとへいく。この後②4人で水をため、「冷たいね」「ぎゅうぎゅうだね」と言い合いながら温泉に入る姿が見られた。



<考察>

- ・①\_\_\_\_\_の姿から個々の発言や行動に共感することで思いを表す姿が見られたのではないか。
- ・②\_\_\_\_\_の姿から同じ場にいる友だちに興味が湧くように声をかけることで会話が生まれつながりを持てたのではないか。

<B期の伝え合う喜びにつながる援助>

- 教師に安心感を持ち、信頼関係を築くために発言や行動に共感したりする。
- 受け入れられる満足感を感じるために一人一人の思いを十分に受け止める中で友だちにも興味が湧くように声をかける。

【Ⅱ期】

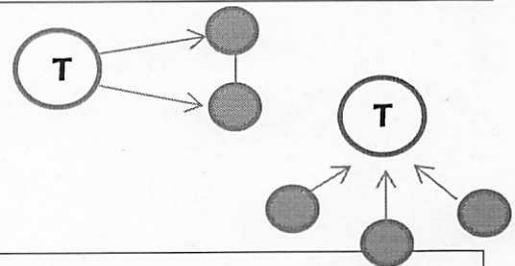
○伝わる喜び

○友だちの色々な思いを知る

事例 ii

～夏祭りのお神輿のテーマを決める話し合い～

お神輿とはどんなものか図を見せたり知らせたりしながら自分たちのお祭りのおみこしはどんなものに乗せたいか教師が投げかけると、①「かっこいいから仮面ライダーみこし」「風の様に速いから風みこし！」「うさぎぐみだからうさぎみこし」と一人一人考えを話す姿が見られる。一人一人の発言に「〇〇ちゃんはこう思ったからこのみこしがいいと思ったんだね」と教師が受け止め、黒板に図を描きながら他の子どもにイメージが湧きやすいように援助をした。それを見た子どもが、②「あっ！なんかいい～」「全部いいな」「迷うな」と友だちの考えに興味を持ち、自分なりに友だちの考えを聞き入れる姿が見られる。また、考えに自信がない言いくらいの子どもには、教師が近くで寄り添い、一対一で思いを引き出したり、「色々迷うよね、ゆっくり考えてまた後で聞くね」と気持ちを汲み取ったりする援助を行った。すると教師に①「〇〇みこし」と思いをつぶやいたり、「一緒に気持ち」と伝えたりする姿が見られるようになった。



<考察>

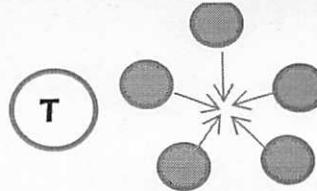
- ・①\_\_\_\_\_の姿から一人一人の発言に共感し、言葉にならない思いをくみ取ることで安心して思いを出す姿が見られたのではないか。
- ・②\_\_\_\_\_の姿から教師が子どもの考えに興味を持ち、肯定的に捉えることで他の子どもの考えに触れたり聞き入れたりする姿が見られたのではないか。

<II期の伝え合う喜びにつながる援助>

- 色々な思いや考えを知ることができる様に話し合う場を意図的に持つ。
- 伝わる喜びを味わうために教師が言葉を補いないながら共感し友だちとつながりを持てるようにする。

【III期】

- 伝わり共有する喜び
- 仲間の思いを意識する



事例iii

～しっぽ取りゲームの作戦を考える話し合い～

作戦の時間が始まると、「たしかに！」「そうそう」という声が聞かれるので「〇〇ちゃんも同じ気持ちみたいだよ」と伝わる喜びに共感する。「ん～？」といつたり首をかしげたりしている子どもには教師が友だちの考えを分かりやすいように簡潔にまとめたり、「こう考えたみたいだよ」と知らせたりする。また、考えを伝えている子どもにも「それってこういうこと？」と尋ねたり「ちょっとやってみて！」と促したりすることで友だちに伝わるために必要な言葉や方法に気付かせる援助を行った。すると、①作戦を理解し実行することで①「上手くいったなあ！」と、友だちと思いを共有する姿が見られた。思いのズレからトラブルになる時は一人一人の思いを十分に聞き、「〇〇君はこう思ったんだね、〇〇ちゃんはこう思ったんだよね」と思いの違いを分かるように話しながら子どもたちと解決方法を考えるよう思いの橋渡しをする援助を行った。すると回数を重ねるごとに積極的に発言をする子どもが増え、②「それってどういうこと？」と分からぬことを聞き合ったり、「じゃあ合わせてこうしてみようよ！」と考えを受け止めたりする姿が見られるようになった。



<考察>

- ・① の姿から子どもの考えをまとめたり、伝わるために言葉や方法に気付かせたりすることで考えや思いを共有する姿が見られたのではないか。
- ・② の姿からお互いの発言を十分に受け止め解決に向け一緒に考えることで友だちの考えを受け止めたり折り合ったりする姿が見られたのではないか

<III期の伝え合う喜びにつながる援助>

- 全員が友だちの考えを理解できるために考えをまとめたり分からぬことを確認したりしながら進める。
- 話し合う必要感を感じたり、活動の意欲を高めるために嬉しさや悔しさの感情を十分に味わい共有できる時間をとる。

【IV期】

- めあて実現のために  
伝え合う喜び
- 互いの思いを認め合う

事例iv

IV期 ～ハーモニーランドごっこ製作中の話～

ジェットコースターを作るチームはある程度形が完成し、試運転をしている。乗っている最中に①「あ！まだダメや鍵かかってない！外れる！」と一人の子どもが気付き、仲間に伝える。他の子どもは「え～大丈夫やもん…」といいながら降りようとしない。「危ないよ」「手で押さえるからいい」と何度もやり取りがある。教師は少し離れて見守る。①「怪我したら誰も乗ってくれないよ」という声に「わかったよ、でも分からんもん鍵…」とつぶやく。教師はそばに行き「どうしたの」と声をかける。「鍵をちゃんとしたいけど分からない」と話すので、直そうとする気持ちを認めつつ一緒に考えた。「分からん」「強く押したから」等考えを話すので「どうして壊れたと思う？」と視点を与えながら改善に向けて話ができるように促した。②「人が重いから」「鍵が薄かった」「じゃあ二枚にする？」「ほかのチームはどうしよんのかな？」「見に行こう」「いいね、いこう」と子どもたちの考えから他のチームを見ることになった。

この後、他のチームのカギを見て回り、さらにダンボールを重ね強力になった鍵が完成した。ジェットコースターグループはクラスの前で「完成しました。乗ってください」「あと、鍵が強くなつたから重たくてもみんな転ばずに乗れます！」と自信をもって話す姿が見られた。



<考察>

- ・① の姿から教師が介入するタイミングを見計らうことで自分たちで思いを伝え合う姿が見られたのではないか。
- ・② の姿から教師が話す論点を絞ることで子どもたちが同じ目的に向かって話し合うことができたのではないか。

<IV期の伝え合う喜びにつながる援助>

- 自分たちで遊びを進める意欲を高めるために場に応じて見守ったり自分たちで進める姿を認めたりする。
- 同じ目的に向かって話すことができるため個々の思いを大切にしながら、論点を絞ったり考え方の重なりや違いに気付かせたりする。

## 事例 伝え合う喜びを感じる 個別の育ちの姿と援助

### (1)研究対象児

- A児…入園当初より泣いたり、表情で思いを表したりことが多く「話す」ことに期待を持てる幼児である。
- B児…入園当初より自己主張が強く「聞く」ことに期待を持てる幼児である。
- C児…昨年度作成されたアプローチカリキュラムの中で「話す」「聞く」両方ともに目安に近い育ちの幼児である。

### (2) - ① A児

#### I期 ～思いを表すA児～

教師や友だちに挨拶をされたり、話しかけられると困った表情で固まったり、教師を見つめたりする。「どうしたの」と声をかけると泣くことで思いを表現する姿が見られた。幼稚園で安心して過ごしてほしいと願い、A児が教師に安心感を持てるように、スキンシップを取ったり、「こういう気持ちだったのかな?」とA児の思いをくみ取ったりしながら寄り添った。また、A児の好きなものや好きなことをよく知り、信頼感を持てるようにする援助を行った。すると、①遊びに誘われると一緒にやってみようと仲間に入ったり、頷く、返事をする等意思を表したりする姿が見られるようになった。



#### <考察 Z>

- ・①\_\_\_\_\_の姿から教師に対し安心感を持てるようにスキンシップを取ったり、思いをくみ取ったりすることで頷いたり返事をしたり意思を表す姿がみられたのではないか。

#### II期 ～伝わる喜びを味わうA児～

運動遊びを好み、遊びに夢中になる中で教師に対し、「A, めっちゃ速いんで」といきいきと思いを表す姿が見られる。一方で困ったことがあると教師を見つめ、気づいてもらえるまで待つ姿が見られる。感じたことや思ったことを自分なりの言葉で表してほしいと願い、遊びの中でのその子らしさを十分に認め、発言に共感したり、受け止めたりする援助や伝えようとする姿を認め「お返事があったからよくわかったよ、嬉しかったよ」と伝わる喜びを感じられるような援助を行った。すると、遊びの中で夢中になるあまり①「よっしゃー！」大きな声で思いを表したり、友だちを応援したり、困ったことがあると教師に困りをつぶやく姿が見られた。



#### <考察 b>

- ・①\_\_\_\_\_の姿から発言に共感したり受け止めたりすることで自信をもって思いを表したのではないか。

### III期 ～仲間に意識が向くA児～

遊びの中で感じた「やったー！」「くやしい」等の感情を表現し、友だちに「今度は負けないぞ」と共有する姿が見られる。クラスの中で考えを聞かれると、「〇〇君と同じ」や「いいと思う」と友だちを意識し、発言する姿が見られる。一方で「こんなことも考えてた」と教師に自分なりの考えを伝えに来る姿も見られた。自分の思いや考えを友だちにも進んで伝えてほしいと願い、A児の気持ちをまずは教師がしっかり受け止め、周りに広めたり、伝えるように促す援助や、「お友だちも一緒に考えたいだよ」等“伝えてよかった”と思えるような声かけを行った。すると、①遊びの中で自分の考えをつぶやいたり、友だちの考えに対し「それAも思ってた！」と伝える姿が見られた。



#### <考察 c>

- ・①の姿から周りに広めたり、伝えるように促す援助をすることで自分の考えを友だちにつぶやいたり、友だちの考えに賛同する姿が見られのではないか。

### IV期 ～受け入れられる喜びを味わうA児～

グループやクラスの中で自分なりの考えをつぶやく。教師や友だちが共感するとより大きな声で伝えようしたり、「やっぱりな」と笑顔になったりする。自分が自信のあることだと、クラスの中でも積極的に考えを伝える姿が見られる。一方で友だちに聞き返されたり、自分と友だちの思いにずれが生じると、不安げな表情になったり、教師に助けを求める姿が見られる。自分が感じたことや思ったことを自分なりに工夫しながら相手に伝えてほしいと願い、A児の気持ちを受け止めつつ、色々な考えを知ることができたり、お互いの思いの橋渡しをしたりしながら解決に向かえるような援助を行った。すると、教師が思いの橋渡しをする中で①自分の考えを理由を付け足しながら話したり、「でも～」と解決に向け友だちと向き合う姿が見られた。一方でうまく思いを言葉にできず固まってしまうこともある。



#### <考察 d>

- ・①の姿から色々な考えを知る場を多く持ったり、その中でお互いの思いの橋渡しをしながら解決に向かえるような援助をすることで、解決に向け友だちと向き合い、理由を付け加えながら思いを伝える姿が見られたのではないか。

#### ※考察 Z～d より A児に対する伝え合う喜びを感じることにつながる援助

- ・教師や友だちに安心感や信頼感を持てるようにスキンシップを取ったり思いをくみ取ったりする。
- ・安心して思いを表現できるように発言を十分に認めたり共感したりする。
- ・伝わる喜びをより実感できるように言語化したり共感したりする。
- ・友だちの考えを理解しやすいように教師が分かりやすい言葉で言いかえたり、思いの橋渡しをしたりする。

## (2) - ② B児

### I期 ~友だちに目が向くB児~

自分の知っていることや関心があることに対して積極的に発言をしたり、教師に話す姿が見られる。教師が他の子どもと話している間にも一方的に話し続けることがある。同じ遊びの場にいる友だちを気にしながらも自分なりのイメージで黙々と遊ぶ姿が見られる。このような姿から、友だちにも簡単な言葉で思いを伝えようとしてほしい。友だちの話に興味を持って聞いてみようとしてほしいと願い教師が本児の気持ちや思いを受け入れ、聞いてもらえたり受け入れてもらえたりする喜びを十分に感じられるようにしたり、遊びの中で黙々と自分なりの表現を楽しむ時間を十分に保障する中で友だちに目が向くように声をかけたり、周りの子どもにもB児との関わりがもてたりするよう援助を行った。すると、教師に話す中で、①友だちに「○○ちゃんもきいて」と友だちにも伝えたい気持ちが見られ始める。遊びの中で他の子どもに興味を持ち始め、友だちの動きを見て自分なりに力を合わせる姿が見られるようになった。



#### <考察 e>

- ・①\_\_\_\_\_の姿から教師が思いを受け止めたり友だちに興味を持つ声かけをしたりすることで友だちに話しかける姿が見られたり、自分なりに力を合わせて遊ぶ姿が見られたのではないか。

### II期 ~色々な思いを知るB児~

同じ遊びの場を共有する友だちに対して「こうやってみよう」と簡単な言葉を交わしながら遊ぶ姿が見られる。自分と友だちの思いのずれが生じたときに強い口調になってしまったり、友だちの言葉を受け止められずにその場を去る姿が見られる。友だちの様々な思いや言葉に触れ、色々な考えがあることを知ったり、受け入れたりしながら聞いてほしいと願い、色々な考えに触れる機会を持ったり、教師がモデルとなって「色々な考えがあって面白いね」等肯定的に捉えたりする援助を行った。すると、友だちの思いに「へえ」「そうかあ」と聞き入れる姿が見られる。教師の援助を受けながら友だちの思いを受け止めたり、向き合ったりする姿が見られてきた。



#### <考察 f>

- ・①\_\_\_\_\_の姿から教師がモデルとなり色々な考えや思いを肯定的に捉えることで自分なりに友だちの思いを聞き入れたり、教師の援助を受けながら友だちと向き合ったりする姿が見られたのではないか。

### III期 ～伝わらない葛藤B児～

自分の好きなものや活動に関して積極的に考えを話し、友だちと思いを言い合う姿が見られる。その中でうまく友だちに伝わらずに「どっちでもいい」と友だちに任せたり、もやもやしたまま落ち着かないことがあった。自分なりに相手に伝わるような話し方を工夫してほしい。友だちの話に興味を持ち、思いの重なりや違いを感じながら聞いてほしいと願い、進んで伝わりやすい話し方をした時には「〇〇ちゃんもよくわかったよ、やさしい言い方で嬉しいね」等聞く側の気持ちを伝え、認めていった。また、考えが多くある時に「ここは同じだけここは違うね」「〇〇ちゃんも一緒に気持ちみたいだよ」等聞きながら自分の考えと照らし合わせることができるように言語化し、意識づける援助を行った。すると友だちの考えに対して①「Bもいっしょや！」と賛同することがおおくなり考え方ながら聞く姿が見られ始めた。友だちと違う考えの時に教師が色々な方法を示しながら自分なりに折り合いをつけようと②「ここはBの考え方でこっちは〇〇君の方法でいいよ」等受け入れる姿が見られた。



#### <考察 g>

- ・①\_\_\_\_\_、②\_\_\_\_\_の姿から聞く側の気持ちを伝え、認めたり、自分の考えと照らし合わせができるように言語化し、意識づける援助をすることで教師の援助を受けながら折り合いをつけたり、友だちの考えを自分と照らし合わせながら発言する姿が見られるようになったのではないか。

### IV期 ～思いが形になる喜びを感じるB児～

協同的な活動において、「こんなのはどう？」と考えを提案したり、友だちの考えを聞き、「いいね、そうしよう」と受け入れたりしながら遊びを進める。思いのズレが生じた時は「でも～になっちゃうよ」等納得のいくまで向き合い話し合う姿が見られる。一方でどんどん進めたい気持ちから仲間に相談せずに進めてしまうこともある。友だちと共通のめあてを持ち、互いに思いを出し合いながら考えを合わせたり、新しい考えを提案したり、折り合ったりして遊びを進めようとしてほしいと願い、めあてを明確にしたり、気持ちの共有ができるような時間を保障した。すると、①進んで考え方を合わせたり、折り合ったりする姿が見られてくる。自分が作ったものに対して愛着を持ち、「頑張ったな！」と仲間と完成を喜んだり、出来栄えに満足感を持つ姿が見られた。



#### <考察 h>

- ・①\_\_\_\_\_の姿から教師がめあてを明確にしたり、気持ちの共有ができる時間を確保することで進んで考え方を合わせたり折り合ったりする姿が見られ、また作り上げたものに満足感をもつ姿が見られたのではないか。

#### ※考察 e～h より B児に対する伝え合う喜びを感じることにつながる援助

- ・伝わる喜びを感じられるように教師が十分に思いを受け止める。
- ・色々な考えがあつていいことを知ることができるようどの考えにも肯定的な教師の姿を見せる。
- ・自分の思いを十分に表現し、相手の思いが分かるように教師が分かりやすいように言い換えたり、考えの重なりや違いを知らせたりしていく。
- ・目的が達成された満足感や充実感を十分に感じられるように仲間と喜び合う時間を取り個々を認めお互いの良さに気付くことができるようとする。

## (2) - ③ C児

### I期 ~表すことを喜ぶC児~

嬉しいことや楽しいことを積極的に教師に伝えに来る姿が見られる。教師が共感すると、飛び跳ねたりスキシップを取る姿が見られる。一方で困りや分からぬことに関しては伝えにくい姿が見られる。同じ場で遊び友達に対して「あそぼう」「いれて」と簡単な言葉のやり取りをする。安心して自分の安心して自分の気持ちを表情や動作でのびのびと表してほしい。同じ場にいる友だちに興味を持ち関わってほしいと願い、教師に対し信頼感を持てるように話に共感したり、「困っていることないかな?」となんでも話していいということを感じたりできるようになる。色々な友だちと関わりを持つてるように周りの子どもを意識できるような声かけをしたり、周りの子どもに興味を持つてこのような活動をする援助を行った。すると、教師に対し喜びだけでなく、「緊張してる」や「どうしよう」等の感情も伝えに来る姿が見られた。友だちに興味を持ち、①名前を呼んだり、遊びに誘ったりしながら進んで関わろうとする。気付いたことを友だちに伝えたい気持ちが強まり、「こんなのが見つけたよ」「Cはこんな気持ち」等思いを伝える姿が見られた。



### <考察B>

- ・① \_\_\_\_\_の姿から教師が十分に思いを受け止め友だちを意識できる声かけをすることで、友だちに興味を持ち、名前を呼んだり遊びに誘ったりする姿が見られるようになったのではないか。

### II期 ~聞いてほしい！見てほしいC児~

遊びの中で自分の感じたことや考えをのびのびと表現し、友だちにも知らせたい！見せたい！と進んで関わりを求める。友だちに拍手をされたり、共感されると嬉しそうに笑う姿が見られる。一方で友だちの話に対して耳を傾けるものの自分もこれを見つけた、自分も話したいという思いが出る姿が見られる。友だちの様々な思いに触れ、受け入れたり、思いを巡らせたりしながら話を聞いてほしいと願い、C児の思いを受け止めつつ、教師がモデルとなり友だちの話を聞き受け入れる姿勢を示したり、「○○ちゃん聞いてくれているね」と伝わる喜びに共感する援助を行った。すると、遊びの中で自分の気持ちを話しつつも友だちの気持ちにも耳を傾け、①聞いたうえでの考え方を話す姿が見られることが多くなったり、相手に分かってもらえるように、教師の言い方を真似て話してみたり、理由を付け加えて話したりする姿が見られた。



### <考察j>

- ・① \_\_\_\_\_の姿から教師が相手に伝わるように思いをくみ取ったり伝わる喜びに共感したりすることで友だちの気持ちにも耳を傾け聞いたうえでの自分の考え方を話すことが多くなったのではないか。

### III期 ～仲間意識の芽生え C児～

グループ活動の中で積極的に考えを提案する一方で自分の考えが反映されないと落ち込み続ける姿が見られる。仲間意識が強く、「みんなでえいえいおーしよう」や「〇組負けないぞー」と集団に声をかけ活動を進める姿が見られる。相手に分かるように自分なりに工夫して話をしたり、分かりにくいところは尋ねたりしながらイメージの共通化や解決に向かおうとしてほしいと願い、お互いの気持ちや考えがよりわかるように言葉を補つたり簡潔にまとめたりしながら思いの重なりや違いを知ることができるようになる。また、教師が伝え合うモデルとなりながら色々な解決策を提案したり、言い方を示したりしながら方法を知ることができるようにする援助を行った。すると、思いのずれが生じたときに①「どうしようか」と悩んだり、「こうしてみる?」と解決策を提案したりしながら進めようとする姿が見られ始めた。



#### <考察 k>

- ・①\_\_\_\_\_の姿から友だちの考えをより理解し共有できるようにわかりやすいように言葉をまとめたり思いの重なり、や違いを知らせたりすることで解決策を提案しながら遊びを進める姿が見られたのではないか。

### IV期 ～認め合う C児～

グループ活動の中で他の友だちの思いを聞き、「CはこうしたいからここはC、ここは〇〇ちゃん、ここは〇〇君にするのはどう?」と自分の思いと友だちの思いを踏まえながら積極的に解決策を提案する姿が見られる。友だちの気持ちを推し量ったり、話の主旨を分かろうとしたりしながら聞いてほしいと願い、みんなで進めようとする場面では「みんなで考えたから、いっぱい話したからうまくいったね(素敵なものができたね)」等話してよかったです、力を合わせてよかったですと感じができるようになる。一方的になりがちな場面では他の子どもの様子や状況を知らせながら時間をおいたり、考える時間を与えたりしながら推し量る方法を知ることができるようになる援助を行った。すると、①「今考え中なんだと思うよ」等場の様子を周りの子どもにも伝えながら自分なりに相手の気持ちを考える姿が見られる。遊びをより楽しく、面白くしようとグループやクラスの中で積極的に考えを提案したり、実現に向け行動する姿が見られるようになった。



#### <考察 l>

- ・①\_\_\_\_\_の姿から自分たちで進めようとする姿を見守ったり、必要に応じて認めや助言をすることで遊びをより楽しく、面白くしようとグループやクラスの中で積極的に考えを提案したり、実現に向け行動する姿が見られるようになったのではないか。

#### ※考察B～1より C児に対する伝え合う喜びを感じることにつながる援助

- ・友だちに思いを表す喜びを感じることができるように教師が十分に思いを受け止め友だちを意識できる声かけをする。
- ・受け入れられる喜びを感じられるように色々な考えに触れることができる場を多く持ち、相手に伝わるように思いをくみ取ったり伝わる喜びに共感したりする。
- ・友だちの考えをより理解し共有できるようにわかりやすいように言葉をまとめたり思いの重なり、や違いを知らせたりする。
- ・自分たちで遊びを進めることができるように自分たちで進めようとする姿を見守ったり、必要に応じて認めや助言をする。

# 研究資料

○資料① しっぽとりゲームについて

○資料②～④ 個別の育ちの記録

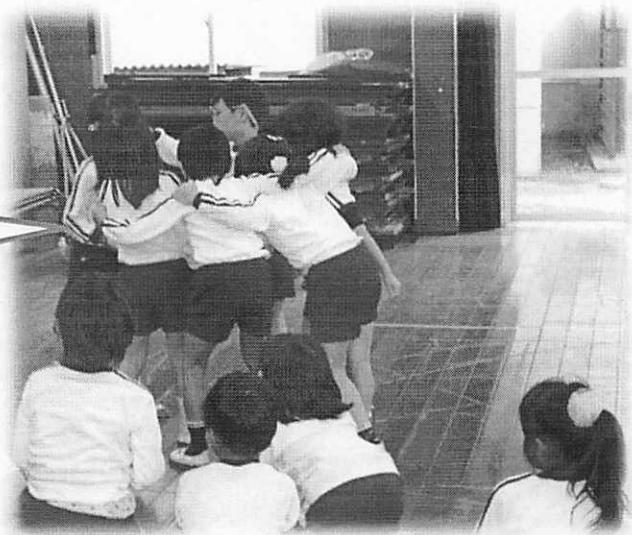
○津留幼稚園アプローチカリキュラム

「きく力」「話す力」におけるそだちのめやす



なるほどね！

次は絶対勝つぞー！  
お昼に作戦立てよう！



## 提案保育「しっぽ取りゲーム」について

### 1. 子どもの実態

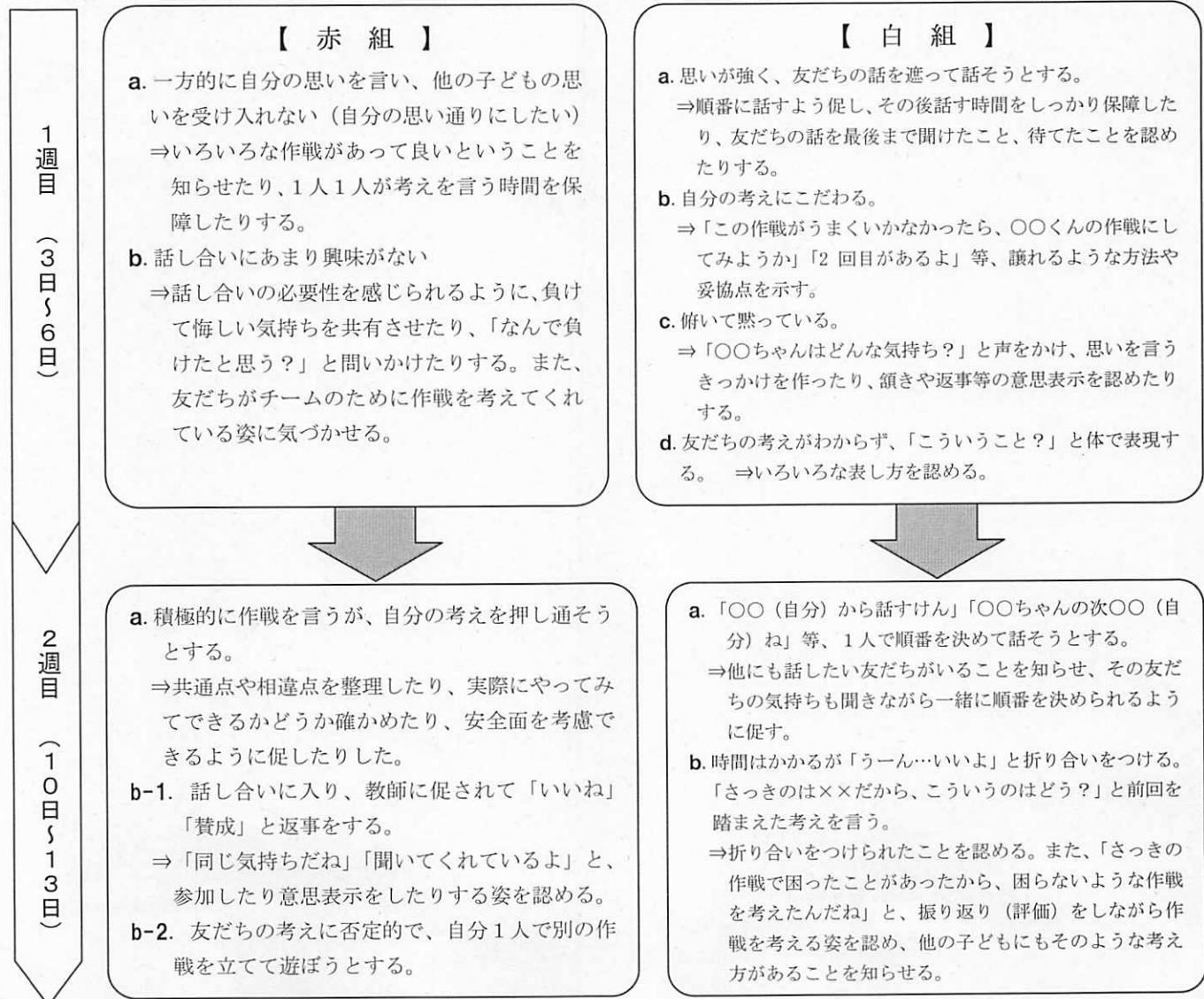
好きな遊びの時間の過ごし方を見ていると、1学期から鬼ごっこ（氷鬼、メダル鬼等）やじやんけん陣取り等、友だちと一緒に簡単なルールのある運動遊びを楽しむ姿が多い。しっぽ取りゲームも1学期（6月）から続く遊びの1つで、しっぽを増やしたりチームに分かれたりする等、遊び方を自分たちで工夫し、「この作戦どう？」「いいね」「〇〇くん生き残れ！」「また一緒にしようね」と言葉を交わしながら楽しんでいた。

しっぽ取りゲームが園内運動会の種目に決定して以降、赤組と白組に分かれて、2日に1回ほどの頻度で繰り返し遊んできた。しっぽを取られたくない思いから、しっぽを手で押さえたり、ズボンに入れ込んで見えないようにしたりする等の工夫が見られたが、「しっぽを押さえたら取れない」「短すぎて取れない」という困りが出たため、全員で話し合い、自分のしっぽは触らないという新しいルールを考えたり、しっぽの長さを決めたりした。

子ども1人1人の姿に着目してみると、意欲的に友だちのしっぽを取りに行ったり、必死に逃げたりして、遊びの面白さやスリルを味わう子どもがいる一方で、始まってすぐにしっぽを取られ、悔しそうな表情を見せるが、何も思いを言わずに座っている子どももいた。また、自分のしっぽを取られたことやチームが負けたことで、悔し泣きをしたり怒ったりする姿も見られた。

子どもから出た「悔しい」「勝ちたい」「どうしたら勝てるかな」等の思いから、チームごとに作戦会議を重ねてきた。

### <作戦会議での子どもの様子と援助>



2週目

- ⇒教師が1対1で話を聞き、作戦や否定した理由を友だちにも知らせられるよう促して、所属感や自己有用感を高められるようにする。
- c. 友だちの考えを聞いた上で自分の考えを話す。  
⇒「友だちの気持ちに合わせて考えたんだね」「作戦がもっと良くなつたよ」と考えをすり合わせようとする姿を認められる。

- c. 友だちの考えに対して、「〇〇もそう思う」「いいよ」と返事をする姿が見られ始める。理由を尋ねられると自分なりに答えようとする。反対意見をあまり言わない。  
⇒「お返事してくれたから〇〇ちゃんの気持ちがよくわかつたね」と気持ちが伝わったことを知らせたり、「本当にいいの?」「違つてもいいんだよ」と思いを確かめたりする。
- d. わからないことを質問したり、話していない子どもに思いを聞いたりする等、教師の援助に近い行動をとる。  
⇒「作戦がよくわかつたね」「〇ちゃんも同じ気持ちってわかつたね」と、チームの友だちと共通理解しながら進めようとする姿を認める。

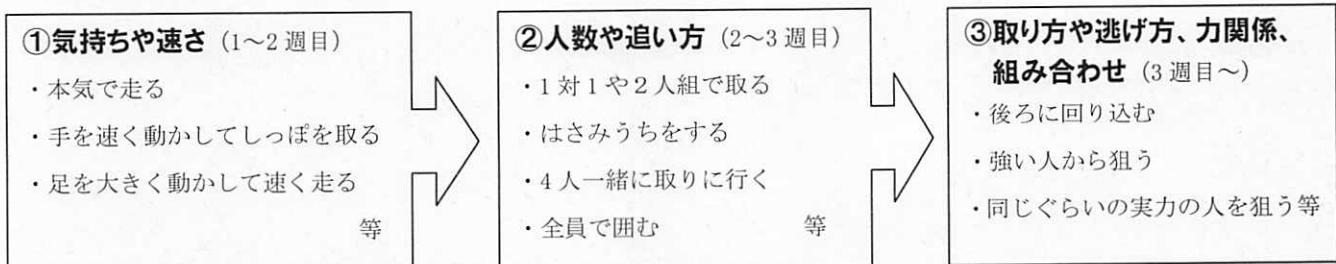
3週目  
(17日～現在)

- a-1. 自分の考えを話したり、友だちの考えを聞いたりする。(受け入れができるときもある)  
⇒1人1人の話や共通点・相違点を整理したり、受け入れができたときに十分に認めたりする。
- a-2. 1番に話せないと癪癩を起こす。  
⇒順番を知らせたり、クールダウンをしてから参加できるようにしたりする。
- b. 友だちの考えを復唱したり(考え方理解しようとしている)、頷いたりしながら意思を表す。  
⇒友だちの考えをわからうとしたり、自ら気持ちを表そうとしたりする姿を言葉にして認める。
- c. 友だちの考えを聞き、わからないことを質問したり、不安に思っていることを聞いたりする。  
⇒「聞いたから作戦がよくわかつたね」「みんなもよくわかつたね」と、質問することで共通理解ができたということを認める。

- a. 「〇〇ちゃんの次に言っていい?」と友だちに聞いてから話す姿が見られ始める。いつも何かを話したいという思いがあるが、論点がずれやすい。  
⇒友だちに聞いて話す姿を認め、引き続き聞けるようにしていくとともに、話す前に「今はこの話をしているよ」と意識づける。
- b. 「〇〇くんの考え方だと、こういうとき困るんじゃない?」と、友だちの考え方踏まえて話をする。  
⇒友だちの作戦について一緒に考ようとする姿を認め、周りの子どもにも「みんなはどう?」と思いを尋ねる。
- c. 友だちの考えに共感したり、選択肢があると「こっちの作戦がいいと思う」と意思を示したりする。  
⇒意思表示をする姿を認めながら、友だちの思いに合わせるだけでなく、自分なりに思いを言えるように問い合わせたり促したりする。
- d. 作戦がうまくいかなかった理由を考え、自分なりに友だちに伝えようとする。  
⇒簡潔にまとめて周りの子どもに伝えることで、一緒に理由を考えられるようにする。

## <これまでの作戦の内容と変化>

個の作戦から、チームみんなの作戦へ(遊びやめあての深まり・伝え合う必要感の高まり)



## しつぽ取りゲーム 作戦の変化

日	内容	赤 組	白 組
17 (火)	前回	はさみうちをしたが、うまくいかなかった。	1人ずつ決めた人を追いかけるが、逃げられた。
	作戦	決めた人のしつぽを取る。(実力は関係なく決める)	2、3人組で決めた人を追いかける。 3人組は強い人を狙う。
	課題	しつぽを取った後どうしたらいいかわからない。 A児が速くて取れなかつた。	決めた人を2人組で一緒に追いかけたかったが、バラバラになつたり、違う人を追いかけたりした。
	めあて	しつぽを取った後、1番速いA児を囮む。	2人揃って、決めた人を追いかける。
18 (水)	作戦	自分の実力に合わせて決めた人のしつぽを取った後、皆で手をつないでA児を囮む。 隙間から逃げられないようにA児の動きに合わせて動く。(囮む、間を詰める等)	2人一緒に追いかけ、近づいたらはさみうちをする。 ねらう人をきちんと確認する。 初めて全員しつぽを取られ、泣く、呆然とする、ぐつたりと寝転ぶ、慰める等、悔しい思いを味わい、共有していた。
	課題	B児が始まってすぐ決めた人のしつぽを取った。 その後、他の子を待たずにA児のしつぽを取つたため囮めなかつた。	取りに行く前に全員しつぽを取られた。 B児に4人しつぽを取られた。 昼食時間も話そうと、赤白分かれ食べることを提案
	めあて	A児以外を先に取り、最後に全員揃ってA児を囮む。 みんなで考えた作戦をどうしてもやってみたい!	B児のしつぽを全員で取りに行く。 後ろに敵が来たら逃げずに振り返る、しつぽを見せない走り方「くるっと作戦」
19 (木)	作戦	A児以外を先に取り、全員揃ってA児を囮む。	A児がおとりになり、他の子どもがB児のしつぽを取る。
	課題	囮るのが難しい。 C児も速く、なかなか取れなかつた。	おとりになって近づいても、B児が取りに来なかつた。 くるっと作戦を忘れていた。
	めあて	A児とC児のしつぽを全員で取りに行く。	A児は、B児の気を引くような声かけをする。 他の子どもはくるっと作戦を忘れず、B児を追う。
20 (金)	作戦	1対1で追い、C児は速い人が取る。 その後、「よし、いくよ」合図でA児を囮む。	A児は、B児に「こっちおいで~」と声をかける。 他の子どもは、くるっと作戦をしながらB児を追う。
	課題	1対1が取れず、囮めなかつた。	A児に3人しつぽを取られた。
	めあて	全員取る。	ねらいをB児からA児へ変える。
24 (火)	1回目 作戦	自分と同じくらいの速さの人を取りに行く。 その後、A児を全員で取りに行く。 久々に負け、悔しい思いを味わう。 泣く子どももいた。	A児は、A児を「A児君かっこいいからこっちおいで」と誘う。他の子どもは、A児に気づかれないように忍者走り(静かに走る)で追いかける。その後D児とE児を追いかける。
	課題	A児のしつぽが取れた。全員で行かなくてよかつた。	作戦ができた人もいれば、できなかつた人もいた。
	めあて	1対1で取りに行く。	作戦を全部できるようにする。
25 (火)	2回目 作戦	実力が合う人を1対1で追う。	5つの作戦をきちんと覚える。
	課題	白組のくるんぱ作戦に負けた。	声をかける作戦をしなくてもA児のしつぽを取れる。
	めあて	くるんぱ作戦を自分たちにも取り入れる。	作戦を1つ減らし、4つ全部できるようにする。
25 (火)	1回目 作戦	くるんぱ作戦で、1対1で取りに行く	A児が欠席だったので、追いかける人をB児に戻す。
	課題	特になし(作戦がうまくいった)	B児は取れたが、F児のしつぽを取れなかつた。
	めあて	くるんぱ+後ろを気にしながら走る。	F児のしつぽを1番に取りに行く。
	作戦	くるんぱ+後ろを気にしながら走る。	F児→B児→D児の順に、全員でしつぽを取りに行く。
	課題	作戦を忘れている人がいた。	逃げることに集中していまい、F児のしつぽが最後まで取れなかつた。
	めあて	作戦を忘れないように声を掛け合う。	くるっと作戦をしながら、F児を全員で追いかける。

	I期	願い	予想される姿	援助	その後の姿
A児	<ul style="list-style-type: none"> <li>登園時、不安げな様子で部屋に入ることをためらう。教師に挨拶されると、困った顔で教師を見たり、小さな声で「おはよう」と返したりする姿が見られる。</li> <li>自分から遊びに入ることが苦手で、教師が近くに行き、「これやってみる? こんなのもあるよ」と道具を差し出すと、触つてみたり、表情が和らいだりする。</li> <li>友だちに挨拶をされたり、話しかけられたりすると困った表情で教師を見つめる。「どうしたの?」と尋ねると泣いたり「分からない」と困りを口にしたりする。</li> </ul>	<p>○幼稚園で安心して過ごす ○教師に自分なりの表現や言葉で伝えようとする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師や友だちから挨拶をされたり、話しかけられたりすると固まってしまう。</li> <li>困ったことや分からないことを言えずに泣いて表現する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A児が教師に安心感を持てるように、スキンシップを取ったり、「こういう気持ちだったのかな?」等A児の思いをくみ取ったりしながら寄り添う。</li> <li>A児の好きなものや好きなことをよく知り、信頼感を持つようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登園時に教師に挨拶されると、にこっと笑ったり、「おはよう」と小さな声で返したりする姿が見られる。一方でお家人から中々離れられないこともある。</li> <li>鬼ごっこに興味をもち、教師に誘われると一緒に遊ぶ姿が見られる。時間が経つと疲れから固まる姿が見られる。「休憩する?」と教師が聞くとうなずき、テラスに座る。</li> </ul>

	Ⅱ期	願い	予想される姿	援助	その後の姿
A児	<ul style="list-style-type: none"> <li>登園時、教師に挨拶されると母親に促されながら「おはよう」と返す姿が見られる。時間はかかるが自分で部屋に入る。</li> <li>友だちに遊びに誘われると「うん！」と返事をしたり、「やめとく」と返事をしたりする姿が見られる。</li> <li>運動遊びを好み、鬼ごっこやしっぽ取りゲームを繰り返し楽しむ。</li> <li>遊びに夢中になる中で教師に「A、めっちゃ強いんで」と自分の思いを話す姿が見られる。</li> <li>困ったことがあると教師を見つめて気付いてもらうまで待つ姿が見られる。「どうしたの」と尋ねると「〇〇…」と単語で答える姿が見られる。</li> </ul>	<p>○感じたことや思ったことを自分なりの表現で表す</p> <p>○喜んで先生や友だちと触れ合い、安心して過ごす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>遊びの中で自分の思いや気持ちを話そうとする。</li> <li>困ったことや分からぬことがあると表情で訴える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A児の好きな遊びの中でその子らしさを十分に認め、発言に共感したり、受け止めたりする</li> <li>A児の伝えようとする姿を認め、「お返事があったからよくわかったよ、嬉しかったよ」等意識づける</li> <li>A児が友だちに目を向けるきっかけを作ったり、同じ遊びの場を共有している友だちに目が向いたりするような声をかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登園時には挨拶を自分から返したり、母親に促されながら返したりする姿が続いた。</li> <li>遊びの中で自分なりに思いを表現する姿、同じチームの友だちを「いけー！」と応援する姿が見られた。</li> <li>教師に遊びの中であつたことを進んで話したり、友だちの問い合わせに返事をしたりする姿が見られる。また、友だちの話に興味を持ち、「Aもそう思ってた！」と共感したりする。</li> <li>困ったことがあると、自分から教師に近づき困りをつぶやくことが多くなった。</li> </ul>

	Ⅲ期	願い	予想される姿	援助	その後の姿
A児	<ul style="list-style-type: none"> <li>登園時、教師に挨拶されると「おはよう」と返す姿が見られ自分で進んで部屋に入る。</li> <li>自分がしたい遊びをしている友だちには「一緒にいれて！」と進んで誘う姿が見られる。</li> <li>遊びの中での「やつたー！」「くやしい」等の感情を大きな声で表現する。</li> <li>クラスの中で教師に考えを聞かれると「いいと思う」「同じ気持ち」等友だちの考え方と同じであることを意思表示する姿が見られる。一方で教師に対し「こんなことも考えていた」と自分なりの考えを伝えに来る姿もあつた。</li> <li>困ったことがあると教師に近づき、教師に尋ねられながらあつたことや困ったことを説明する姿が見られた。</li> </ul>	<p>○自分が感じたことや思ったことを自分なりの表現で友だちや教師に伝えようとする。(頷き、意思表示)</p> <p>○困ったことがあった時に自分から困りを伝える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の気持ちを持っているが伝えずにいる。</li> <li>困ったことがあった時に気付いてもらおうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A児の気持ちを教師がしっかり受け止め、周りに広めたり、伝えるように促したりする。また伝わった喜びに共感したり、“言ってよかつた”と思えるような声かけをしたりする。</li> <li>困りが出たときに解決に向け一緒に考えるようしたり、考えを認めながら自信をもって解決に向かえたりするようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登園時には進んで部屋に入り、友だちからの挨拶にもこたえることが多くなった。</li> <li>遊びの中で自分の考えをつぶやいたり、友だちの考えに共感したり、受け止める姿が多くみられるようになった。</li> <li>教師に促されながら友だちに気持ちを話したり、伝えようとしたりする姿が見え始める。</li> <li>困ったことがあった時に教師に尋ねられながら理由を話し、解決法を一緒に考え、「○○したらいいと思う」と自分なりに解決に向かおうとし、教師の認めを受けながら行動に移す姿が見られた。</li> </ul>

	IV期	願い	予想される姿	援助	その後の姿
A児	<ul style="list-style-type: none"> <li>登園時、教師に挨拶されると「おはよう」と返す姿が見られ自分でから進んで部屋に入る。あとから来た友達に自分から「おはよう」と言いに行く姿が見られる。</li> <li>遊びの中で思ったことや考えたことを小さな声でつぶやく。教師や友だちが共感すると、より大きな声で伝えようしたり「やっぱりな！」と笑顔になったりする姿が見られる。</li> <li>クラスの中でも自信があることだと積極的に発言をする姿が見られる。一方で自信がないことや回答に困ると、不安げな表情になったり、小さな声で話したりする。</li> <li>困ったことがあると教師に自分から困りを話す。一緒に考えると安心して行動に移す。</li> </ul>	<p>○自分が感じたことや思ったことを自分なりに工夫しながら相手に伝えようとする</p> <p>○困ったことがあった時に友だちや教師に尋ねながら自分なりに解決に向かおうとする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友だちの思いや考えを伝える一方で。相手との気持ちのずれや違いに戸惑う。</li> <li>困ったことがあった時に自分なりに考えるが行動に移せずにいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A児の気持ちを受け止めつつも友だちの考えを知ることができるように橋渡しをする。</li> <li>困りが出たときに解決に向け一緒に考えるようにしたり、考え方を認めながら自信をもって解決に向かえたりするようになる。また、徐々に自分で行動に移せるように近くで見守ったり、行動後に認めたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登園時には進んで部屋に入り、友だちに自分から挨拶をする姿が見られる。</li> <li>遊びの中で自分の考えをつぶやいたり、伝えたりする姿が見られる一方で違う思いの友だちがいたときにどうしていいかわからず固まってしまうことがある。教師が橋渡しをする中で自分の考えを工夫しながら話したり(実際にしてみる、理由をつける)友だちの考えに「でも～」と考えを話したりする姿が見られる。</li> <li>困ったことがあった時に自分なりに行動しようとする姿が見られる一方で自信のなさから途中で友だちに助けられたり教師に助けを求めたりしながら解決に向かう。</li> </ul>

	I期	願い	予想される姿	援助	その後の姿
B児	<ul style="list-style-type: none"> <li>登園時には緊張しながらも母親に促されながら挨拶を返す姿が見られる。</li> <li>入園当初より、自分の知っていることや関心があることに対して積極的に発言する姿が見られる。</li> <li>砂場遊びに興味を持ち、同じ場で遊ぶ友だちを意識しながらも黙々と自分なりのイメージで遊ぶ姿が見られる。</li> <li>教師に対し感じたことや考えを積極的に話す姿が見られる。友だちに対しては感じたことをつぶやいたり一方的に話したりして満足することが多い。</li> <li>教師や友だちが話している途中でも言葉を遮って自分の発言をすることが多い。</li> </ul>	<p>○教師や同じ場にいる友だちに簡単な言葉で思いを伝えようとする ○友だちの話に興味を持って聞いてみようとする</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の思いを積極的に話す一方で友だちの思いには関心がない</li> <li>友だちと同じ遊びの場を共有する中で、関わり方が分からな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が本児の気持ちや思いを受け入れ、聞いてもらったり受け入れてもらったりする喜びを十分に感じられるようにする。</li> <li>遊びの中で黙々と自分なりの表現を楽しむ時間を十分に保障する中で友だちに目が向くように声をかけたり、周りの子どもにもI児との関わりがもてたりするよう意識できるよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心して登園する姿が見られ、自分から挨拶を返す姿が見られる。</li> <li>話を聞いてもらえる喜びを感じ、喜んで話をしに来る。また、教師に話す中で、友だちに「〇〇ちゃんもきいて」と友だちにも伝えたい気持ちが見られ始める。</li> <li>遊びの中で他の子どもに興味を持ち始め、友だちの動きを見て自分なりに力を合わせる姿が見られたり、必要なものを友だちの分も用意したりする姿が見られる教師が「〇〇ちゃん持ってきててくれたね」と言うと、安心して「持ってきたよ使っていいよ」と友だちに話す姿が見られる。</li> </ul>

	Ⅱ期	願い	予想される姿	援助	その後の姿
B児	<ul style="list-style-type: none"> <li>登園時には自分から挨拶を返す姿が見られる。</li> <li>クラスの中でも自分の思いや気持ちを積極的に話す姿が見られる。</li> <li>同じ遊びの場を共有する友だちに対して、「ありがとう」「こうしよう」等簡単な言葉を話しながら遊ぶ姿が見られる。また、友だちの発言に対して「いいよ」と返事をする姿が見られる。</li> <li>教師の声かけがりながら、発言している時と話を聞くときの姿勢を意識することが増えた。</li> <li>友だちに対して信頼感を持ちはじめ、思いを表現する中で強い口調になってしまったり、友だちの発言を受け止められずにその場を去ったりする姿も見られる。</li> </ul>	<p>○友だちの様々な思いや言葉の表現に触れ、受け入れたり思いを巡らせたりしながら聞く。</p> <p>○友だちへの話し方を自分なりに工夫しながら話そうとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝えたいため気持ちが強いあまりに口調が強くなる。</li> <li>友だちの思いを聞く中で受け入れられないことに対してどう対応していいかわからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師がモデルとなり伝わりやすい話し方をしたり、「こういつてみるとよくわかるかもしれないね」等具体的に伝え方を示唆したりする。</li> <li>いろんな思いや考えがあることや色々な思いや考えがあっていいことを知らせ、自分と違う考えにも肯定的な感情を持つようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の声かけを受けながら言葉を言い直したり、気を付けたりする姿が見られる。</li> <li>友だちの思いに「そうかあ」「へえ」と聞き入れる姿が見られる。一方で聞き入れながらも自分と違う思いに対して自分の気持ちを押し通そうとすることもあった。</li> <li>クラスの中で積極的に考えを話す姿が見られる。</li> <li>友だちと進んで関わりを持つことが多くなり「一緒にこれをしよう」や「手伝うよ」等言葉を交わしながら遊ぶ。</li> <li>「Bちゃんこれ忘れてるよ」等自分が受けられない言葉に対しては教師の声かけがありながら友だちの気持ちを聞き入れたり向き合おうとしたりする姿勢が見られ始める。</li> </ul>

	Ⅲ期	願い	予想される姿	援助	その後の姿
B児	<ul style="list-style-type: none"> <li>登園時には自分から挨拶を返す姿が見られる。</li> <li>自分の好きなものや活動に対しては積極的に意見を話し、友だちの考えに対しての気持ちを話す姿が見られるその中で熱くなってしまい、うまく友だちに伝わらないことがある。一方で「どっちでもいい」や友だちに任せることもあった。(自分の気持ちが落ち着かない時)</li> <li>友だちの発言に対して返事をすることが多くなり、自分から関わったり向き合つたりする姿が見られつつある。</li> </ul>	<p>○友だちの話に興味を持ち、進んで聞く中で分からないうことは質問したり違いに気付いたりする。</p> <p>○自分なりに相手に伝わるような話し方を工夫する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師の声かけを受けながら伝わりやすい話し方をしようとする。</li> <li>友だちの考えを聞き入れながらも受け入れることが難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進んで伝わりやすい話し方をした時には「〇〇ちゃんもよくわかったよ、やさしい言い方で嬉しいね」等聞く側の気持ちを伝え、認めていく。</li> <li>考えが多くある時に「ここは同じだけどここは違うね」「〇〇ちゃんも一緒に気持ちみたいだよ」等聞きながら自分の考えと照らし合わせることができるように言語化し、意識づける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分で進んで伝え方を工夫することもあれば教師の声かけを受けながら自分なりに工夫する姿もある。</li> <li>友だちの考えに対して「Bもいっしょや！」と賛同することがおとなり考え方ながら聞く姿が見られ始めた。</li> <li>違う考えの時に教師が色々な方法を示しながら自分なりに折り合いをつけようと「ここはBの考え方こっちは〇〇君の方法でいいよ」等受け入れる姿が見られる。</li> </ul>

	IV期	願い	予想される姿	援助	その後の姿
B児	<ul style="list-style-type: none"> <li>登園時には自分から教師や友だちに挨拶をする姿が見られる。</li> <li>協同的な活動において「こんなのはどう？」と考えを提案したり、友だちの考えに対し、「いいね」と受け入れたりしながら遊びを進める。自分が納得いかないことに対しては「だって～なんだよ」等納得のいくまで向き合う姿が見られる。</li> <li>小学生との交流において「これはみんなで考えました」と自分たちが作ったものを自信をもって紹介したり説明したりする姿が見られる。</li> </ul>	<p>○友だちの話に興味を持ち、聞きたいことを質問したり、感情の共有をしたりしながら聞こうとする。</p> <p>○友だちと共通のめあてを持ち、互いに思いを出し合いながら考えを合わせたり、新しい考えを提案したり、折り合ったりして遊びを進めようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで伝わりやすい話し方を工夫しようとする。</li> <li>・自分の状態に応じて集中が切れやすい姿が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気持ちの共有ができるような時間を保障したり、友だちの思いを橋渡したりする。</li> <li>・終わりの時間を明確にして必要な話し合いに進んで臨めるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで伝わりやすい言い方をする姿や友だちの考えに對し「こういうことだね」と他の子どもの気持ちも伝わりやすいように周りに広める姿が見られ始めた。</li> <li>・感情を共有することによって進んで考えを合わせたり、折り合ったりする姿が見られてくる。</li> <li>・自分たちが作ったものに対して愛着を持ち、「頑張ったな！」と仲間と完成を喜んだり、出来栄えに満足感を持つ姿が見られる。</li> </ul>

	I期	願い	予想される姿	援助	その後の姿
C児	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園生活を楽しみに入園してくる。登園すると母親に促されながら「おはようございます」と挨拶をする姿が見られる。</li> <li>同じ場で遊んでいる友だちや入園前より知っている友だちに対し、「あそぼう」「入れて」と簡単な言葉のやり取りをする。</li> <li>友だちに話しかけられると気の合う友だちに対しては自分の思いや考えを簡単な言葉で伝える姿が見られる。一方で返答に困るとその場から離れることが多かった。</li> <li>嬉しいことや楽しいことを教師に積極的に話す姿が見られる教師が共感すると、飛び跳ねたりスキシップを取ったりしながら喜ぶ姿が見られる。</li> </ul>	<p>○安心して自分の気持ちを表情や動作でのびのびと表す。 ○教師や同じ場にいる友だちに簡単な言葉で思いを伝えようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>嬉しいことや楽しいことをのびのびと表現する。一方で困ったことや悲しいことを表現しにくい</li> <li>気の合う友だちには積極的に言葉のやり取りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師に対し信頼感を持てるように話に共感したり、「困っていることないかな?」となんでも話していくということを感じたりできるようにする。</li> <li>気の合う友だちだけでなく色々な友だちと関わりを持つてるように周りの子どもを意識できるような声かけをしたり、周りの子どもにも興味を持つてのような活動をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>登園時教師に挨拶されると進んで挨拶を返す。あとから来た友だちの様子が気になり、テラスまで顔を出す姿が見られる。</li> <li>教師に対し喜びだけでなく、「緊張してる」「どうしよう」等の感情も伝えに来る姿が見られた。教師に「こうしてみる?」等促されるとやってみようとする姿が見られる。</li> <li>友だちに興味を持ち、名前を呼んだり、遊びに誘ったりしながら進んで関わろうとする。気付いたことを友だちに伝えたい気持ちが強まり、「こんなのが見つけたよ」「Cはこんな気持ち」等思いを伝える姿が見られる。</li> </ul>

	Ⅱ期	願い	予想される姿	援助	その後の姿
C児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの友だちにも親しみを持ち始め、登園してくる友だちに手を振ったり挨拶をしたりする姿が見られる。</li> <li>・遊びの中で自分の感じたことや考えをのびのびと表現し、友だちにも知らせたい！見せたい！と進んで関わりを求める。</li> <li>・友だちを気にかけ「どうしたの」と心配する姿やトラブルの間に入り二方の話を聞き、「こうしたらいいんじゃない？」等気持ちを話す姿が見られる。</li> <li>・クラスの中でも積極的に意見を話す姿が見られる。教師に促されながら言い方を考えたり、付け加えたりしながら話す姿が見られる。</li> </ul>	<p>○友だちの様々な思いに触れ、受け入れたり思いを巡らせたりしながら話を聞く</p> <p>○自分なりに工夫しながら相手に分かるよう伝えようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師や友だちに進んで話をしようとする一方で受け入れることが難しい時もある。</li> <li>・友だちに伝えたい気持ちはあるが、対教師が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な話し方を知らせ、友だちにより思いが伝わることを感じができるように声をかけたり、「〇〇ちゃんにこにこだよ、分かってくれたよ」等伝わる喜びを言葉にしたりしながら意識づくようにする。</li> <li>・C児の思いを受け止めながら「みんなも知つたらびっくりするかもしれないね」等徐々に友だちに伝える姿に近づくよう声をかける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登園時自分から進んで挨拶をする。あとから来た友だちに声をかける姿が見られる。</li> <li>・遊びの中で自分の気持ちを話しつつも友だちの気持ちにも耳を傾け、聞いたうえでの考えを話す姿が見られることが多い。</li> <li>・わかってもらえるように、教師の言い方を真似て話してみたり、理由を付け加えて話したりする姿が見られる。</li> <li>・自分の思いを押し通そうとすることもあったが、相手の話を聞き、「じゃあここはCにさせて」等教師が解決策を出しながら自分なりに折り合いをつける姿が見られる。</li> </ul>

	Ⅲ期	願い	予想される姿	援助	その後の姿
C児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動の中で積極的に考えを提案する一方で自分の考えが反映されないとひどく落ち込み続ける姿が見られる。</li> <li>・友だちの考え方や気持ちに返事をしたり「Cも同じ気持ち」と自分の考え方と照らし合わせたりする姿も見られる。</li> <li>・困っている友だちに進んで話を聞いたり、手助けをする等周りを気にして過ごしたりする姿が見られる。</li> <li>・仲間意識が強く、「みんなでえいえいおーしよう」や「○組負けないぞー」と集団に声をかけ活動を進める姿が見られる。</li> </ul>	○相手に分かるように自分なりに工夫して話をしたり、分かりにくいところは尋ねたりしながらイメージの共通化や解決に向かおうとする。	・思いのズれが生じたときに自分の思いを押し通したり、気持ちを伝えることをあきらめたりしてしまう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いの気持ちや考えがよりわかるよう言葉を補ったり簡潔にまとめたりしながら思いの重なりや違いを知ることができるようにする。</li> <li>・教師が伝え合うモデルとなりながら色々な解決策を提案したり、言い方を示したりしながら方法を知ることができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・思いのズれが生じたときに「どうしようか」と悩んだり、「こうしてみる?」と解決策を提案したりしながら進めようとする姿が見られ始めた。</li> <li>・友だちの話を聞き、「○○君と○○ちゃん同じ」と友だち同士の考え方をまとめて周囲に伝える姿が見られた。</li> <li>・自分の思いだけでなく、「○○ちゃんはどう思う?」等話をしていない子どもに話を振ったり、「○○ってこと?」と友だちの考え方を理解しようと尋ねたりする姿が見られる。</li> </ul>

	IV期	願い	予想される姿	援助	その後の姿
C児	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ活動の中で他の友だちの思いを聞き、「CはこうしたいからここはC、ここは○○ちゃん、ここは○○君にするのはどう?」と友だちの思いを踏まえながら解決策を提案する姿が見られる。</li> <li>・自分たちで進めた活動に「大成功と思う!タッチしよう」と満足感を感じる姿が見られる。</li> <li>・友だちの考えに「それいいね」と認めたり、「○○君これうまいからお願ひ」と友だちの良さに気付いたりする姿が見られる。</li> <li>・教師に確認しながらも「みんなにお知らせがあります」と考え方を提案したり、困りを友だちに尋ねたりする姿が見られる。</li> </ul>	<p>○友だちの気持ちを推し量ったり、話の主旨を分かろうとしたりしながら聞く。</p> <p>○場の様子に応じて分かるように話そうとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの考えを踏まえながら解決に向け試行錯誤する。一方で話がうまく伝わらずに一方的になってしまうことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足感を得ている場面に対して「みんなで考えたから、いっぱい話したからうまくいったね(素敵なものができたね)」等話してよかったです、力を合わせてよかったですと感じができるようになる。</li> <li>・一方的になりがちな場面では他の子どもの様子や状況を知らせながら時間をおいたり、考える時間を与えたりしながら推し量る方法を学ぶことができるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで自分たちで進めようと考えを合わせたり、まとめようしたりする姿が見られる。</li> <li>・教師の言葉や姿を真似して、分かるように図で示したり、同じ言葉を使ったりしながら伝える姿が見られる。</li> <li>・「今考え中なんだと思うよ」等場の様子を周りの子どもにも伝えながら自分なりに相手の気持ちを考える姿が見られる。</li> <li>・遊びをより楽しく、面白くしようとグループやクラスの中で積極的に意見を提案したり、実現に向け行動する姿が見られる。</li> </ul>

津留幼稚園「きく力・話す力」における育ちのめやす  
～津留幼稚園アプローチカリキュラムに取り組むにあたって～

※「コミュニケーション力」とは、人とのかかわりの中で、相互にことばや表情のやりとりで育つものである。幼稚園教育要領の「言葉」「人間関係」などは、人とのかかわりあいの中で総合的に育まれるものであるが、ここでは「力」として表している。

	I期（4・5月）	II期（6・7月）	III期（9・10月）	IV期（11・12月）	V期（1・2・3月）	1年生
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の話に興味をもつ。</li> <li>○教師の話を喜んで聞き、表情や身振りで自分の感情を表す。</li> <li>○人の話に短い言葉で応じる。</li> <li>○教師に親しみをもち、自分がしてほしいことや困ったこと、感じたこと等を、自分なりに短い言葉で話そうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の話に興味をもち、聞いてみようとする。</li> <li>○友だちの話を聞いて感情を表したり、共感の意を簡単な言葉や表情・動作で表したりする。</li> <li>○教師や友だちに自分が知っていることや経験したことを探して話そうとする。</li> <li>○自分なりに感じたことを、同じ場にいる友だちや親しい友だちに伝えようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友だちの話に興味をもち、聞きたいことを質問したり、聞きながら「楽しかった」「嬉しかった」等の感情を共有したりしながら聞こうとする。</li> <li>○友だちの思いや考えを聞き、それを受けて自分の感じたことや考えたことを話そうとする。(同時に、いろいろな考えがあることを知る)</li> <li>○相手の話をよく聞きながら相手の表情や話から、相手の気持ちを自分なりに推し量ったりしようとする。</li> <li>○友だちと共通のめあてをもち、自分の考えを話したり、相手の考えを聴いたりして、互いに思いを出し合いながら、考えを合わせたり(つなげる)、新しい考えを提案したり、折り合ったりして、遊びを進めていこうとする。</li> <li>○自分の思いが相手に伝わりにくい時は、身振り手振り等加えたり、具体物を使って示しイメージを明確にしながら話したり等して、自分なりに工夫して相手にわかるように伝えようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の話の主旨を聴き取ろうとしたり、話の展開を予想したりしながら、興味をもって積極的に聞こうとする。</li> <li>○人の話を注意して聴き、自分のわからないことを尋ねたり、相手の気持ちや意思を問い合わせたりしながら、相手が伝えようとしていることを自分なりに理解しようとする。</li> <li>○友だちの思いや考えを自分の思いや考えと照らし合わせながらよく聴き、自分とは異なる思いや考えを受け入れたり認めたりしようとする。</li> <li>○自分たちの生活や遊びをよりよくしようという願いをもち、友だちと一緒にめあてや課題に向かって、話し合い、創り出したり解決に向かおうとしたりする。</li> <li>○相手の反応に応じて言葉を補ったり、相手の話をよく聞きながら言葉にならない思いを汲み取ろうとしたりして、言葉も感情も含めて相手を理解しようとし、互いにわかり合おうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話の要点を落とさないようにしながら、興味をもって聞くことができる。 (聞く力)</li> <li>○わからないことは質問することができる。 (話す力)</li> <li>○話の主旨(話題)に沿って話すこと(話し合うこと)ができる。 (話す力)</li> </ul>	
表現力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師に感じたことを思い思いに話そうとする。</li> <li>○感じたことを表情や動作で表す。</li> <li>○自分の要求を二語文で話す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師の援助のもと「いつ(時間)、～が(主語)、どこで(場所)、～を(目的)を、～した(述語)」等必要な言葉を加えて話そうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の気持ちや考えを加えながら順序立てて話そうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の思いや考えに至った経緯や理由を含め、相手に伝えようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○順序・必要な言葉(主語、述語、目的語等)を基本とし、相手に応じて「自分の思いや考え、感じたことや気持ち・物事の経緯や理由・自分らしい言葉の表現・状況」等を付け加えながら、相手によりわかるように伝えようとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手に応じ、身近なこと等について、事柄の順序を考えながら進んで話すことができる。(話す力)</li> </ul>
態度・マナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手に聞こえる声で名前を言ったり話したりしようとする。</li> <li>○自分以外の人の話に興味をもち、顔や身体を向けて聞こうとする。</li> <li>○教師や保護者に促されながら、相手の顔を見て挨拶ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の目を見て、話をしたり聞いたりする。</li> <li>○相手の話に興味や関心をもち、姿勢よく注意して静かに聞こうとする。</li> <li>○相手の顔を見ながら、相手に聞こえるよう声で自分から進んで挨拶ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の目を見て、自分なりに相手がわかるよう話そうとしたり相手の話を最後まで姿勢よく静かに聴こうとしたりする。</li> <li>○相手の話が終わってから、自分の思いや考えを話そうとする。</li> <li>○相手や場に応じた話し方や態度を意識しながら挨拶したり話したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の目を見ながら、相手がわかるように順序立てて丁寧に話したり、相手の話を最後まで聞いたりすることができる。</li> <li>○相手の話が終わってから話をすることができます。</li> <li>○相手や場に応じた話し方や挨拶ができる。</li> </ul>		